コクに現地法人

ＣＳＡ不動産 飲食店の出店支援

件仲介のＣＳＡ（静岡市、長）がこの・バンコク人を設立し日本語新聞企業グループの合弁会社クの不動産などタイへの出す県内飲食に開業支援を

個人事業主本の全国チ幅広い顧客中心部の店仲介を行っイ法人は「Ｃｕｄｏｓａ」1日に設立。００万円で

出資比率はＣＳＡ49％、タイ人会計士48％、日本語新聞のバンコク週報３％。ＣＳＡは静岡での不動産ノウハウを生かし、バンコク週報グループと組んで、店舗や内装業者の紹介、法人の設立支援、仕入れ先など取引先に関するアドバイスを行う。日本人スタッフ1人を常駐させる。

小島社長は「店舗開店までの費用、時間、リスクを最小限に抑えるサービスを提供したい」と話している。

経済発展が著しいミャンマーでも事業展開を狙い、現地法人の設立準備を進めている。

か、維新ののかという」との認識で、「集めう側ではなく払う側の立

本部長の渡辺周衆院議員（静岡６区）は「県内で50万の票をとる」との目標を掲げ、支援拡大に向けた協力を訴えた。

年度の販売目標台数は国内外で千台。

来月「豆乳おからドーナツ」を販売

白帆タンパク

白帆タンパク（静岡市清水区）は5月、県立大と共同で開発した、液体コンニャクを用いた咀嚼（そしゃく）効果のある菓子「豆乳おからドーナツ」（３個入り、３６０円）＝写真＝を発売する。

コンニャクを酵素で溶かし、豆乳を加えて液体コンニャクを開発し、おから粉などでつくったドーナツ生地に混ぜた。プレーン、緑茶、ゴマの３種類。市内のスーパーなどで販売する。